

## 2023年度教育行政の主要事業等について

～「あいちの教育ビジョン2025」における主な施策の取組の方向～

### あいちの教育ビジョン2025の『基本理念』

「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と「知・徳・体」にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めます。

### 【基本的な取組の方向1】

自ら学びに向かう教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育みます

#### ① 主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実

新学習指導要領が求める、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に努め、「個別最適な学び」と従来からの仲間との学び合いを中心とする「協働的な学び」のそれぞれのよさを発揮させることで、「生きる力」の育成を図ります。

- ◇新学習指導要領（小：2020、中：2021、高：2022実施）を踏まえた授業改善の推進
- ◇35人学級を、**小学校第1学年から第4学年及び中学校第1学年に加え、小学校第5学年に拡充**
- ◇専科指導教員を増員し（専任131人→221人、非常勤講師38人→44人）、**小学校高学年における教科担任制を推進**

#### ② 情報活用能力の育成とICT活用教育の推進

2022年度に全ての県立学校への整備が完了した児童生徒一人一台タブレット端末により、個別最適化された学びと社会とつながる協働的な学びを実現するため、学校におけるICT活用の支援を図ります。

- ◇県立学校の全児童生徒に1人1台タブレット端末を配備（2022年度完了）
- ◇GIGAスクール運営支援センターによる支援、情報通信技術支援員の拡充配置
- ◇オンライン学習支援サービスの活用
- ◇県立学校のインターネット通信環境の改善

#### ③ SDGsの理念を踏まえた教育の推進

持続可能な社会づくりの担い手を育むため、SDGsとのつながりを意識しながら、ESD（持続可能な開発のための教育）をはじめとする教育活動を一層推進します。

- ◇ESDの推進拠点であるユネスコスクールの活性化
- ◇「あいち環境学習プラザ」等における、環境学習の実施
- ◇高校生による地域の環境についての調査・研究や、研究成果の普及・発信

#### ④ 多様な学びを保障する学校・仕組みづくり

「県立高等学校教育推進実施計画（第2期）」、「県立高等学校再編将来構想」、「中高一貫教育導入方針」、「定時制・通信制教育アップデートプラン」に基づき、生徒の多様なニーズへの対応と一人一人の個性を伸ばす学校づくりを推進します。

##### ◇県立高校の魅力化・特色化、再編の推進

- ・稲沢緑風館高校（2023年度開校）の整備、津島地区（2025年度新校開校）における新設高校の整備
- ・特色ある学科改編等（2023年度：犬山総合高校、御津あおば高校、足助高校、城北つばさ高校）
- ・商業高校のリニューアル（2023年度：中川青和高校、春日井泉高校）

##### ◇中高一貫教育の導入

- ・第一次導入校（2025年度開校）：明和高校・半田高校・刈谷高校・津島高校
- ・第二次導入校（2026年度開校）：豊田西高校・時習館高校・西尾高校・日進高校・美和高校（連携型）・愛知総合工科高校・衣台高校（2025～2026年度を目途に連携型中高一貫教育を導入し、将来併設型への移行を目指す。）

##### ◇定時制・通信制教育アップデートプランの推進

- ・通信制のスクーリングを行うサテライト校と小規模の昼間定時制・単位制の設置（2025年度開設）  
佐屋高校・武豊高校・豊野高校・御津あおば高校
- ・適正規模ヘダウンサイジング：旭陵高校（通信制）・刈谷東高校（昼間定時制・通信制）
- ・夜間中学の設置：豊橋工科高校（2025年度開校）、豊田西高校・小牧高校・一宮高校（2026年度開校）

#### ⑤ 理数教育の推進

興味・関心を起点として主体的に課題を解決していく学習や探究型学習を進めるとともに、STEAM教育やスーパーサイエンスハイスクールなどの取組により、理数教育をさらに充実します。

- ◇研究指定校（あいちスーパーサイエンスハイスクール）において、大学・機関・企業での体験研修等を実施
- ◇中高一貫スーパーサイエンスハイスクール実施校（明和・半田・刈谷・豊田西・時習館）
- ◇あいちSTEAM能力育成事業、IT・産業講座の開催

#### ⑥ 特別支援教育の充実

「第2期愛知県特別支援教育推進計画（愛知・つながりプラン2023）」に基づき、障害の有無によって分け隔てられないことがない共生社会の実現に向けて、特別支援教育を一層充実します。

- ◇特別支援学校の新設等
  - ・千種豊学校ひがしうら校舎（2023年度開校）
  - ・岡崎特別支援学校の移転整備（2024年度開校）
  - ・いなざわ特別支援学校校舎増築（2025年度供用開始）
  - ・小牧特別支援学校校舎増築（2026年度供用開始）
- ◇名古屋市立若宮高等特別支援学校施設整備事業の支援（2024年度供用開始）
- ◇スクールカウンセラーの配置（5人）、スクールソーシャルワーカーの配置（2人）、就労アドバイザーの配置（5人）
- ◇通学支援モデル事業（保護者の送迎の負担軽減）の実施
- ◇看護師による医療的ケア実施体制の充実
  - ・常勤看護師の配置（14人→16人）、非常勤看護師の配置（85人→103人）
- ◇次期特別支援教育推進計画（計画期間：2024～2028年度）の策定

## 【基本的な取組の方向2】

人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、実践力を伴った  
道徳性・社会性を育みます

### ① 道徳教育の充実

小中学校における「特別の教科 道徳」を核とした道徳教育を進めるとともに、高等学校における学校教育全体を通じた道徳教育の充実を図ります。

- ◇道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」の活用による指導方法の改善・充実
- ◇県立学校における「地域の明日を拓く人材育成事業」の実施

### ② いじめへの対応の充実

「愛知県いじめ防止基本方針」に基づき、学校や市町村におけるいじめ防止に関する取組を支援し、社会全体でいじめを防止する機運をさらに高め、「いじめをしない、させない、見逃さない」ための取組を積極的に展開していきます。

### ③ 不登校児童生徒への対応の充実

不登校児童生徒一人一人の才能や能力、可能性を伸ばし、多様な教育を受ける機会を確保するため、教育相談体制の充実を図り、組織的・計画的に個々の児童生徒に応じたきめ細かな支援を行っていきます。

- ◇スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置の拡充及び配置する市町村への補助
- ◇24時間体制の電話相談の運営、県立学校におけるネットパトロールの実施
- ◇小・中学生、高校生を対象としたSNS等による相談の実施
- ◇校内教育支援センター（校内フリースクール）の整備
- ◇中高一貫不登校特例校（日進高校）

## 【基本的な取組の方向3】

健やかな体と心を育む教育を充実させ、生涯にわたって、たくましく  
生きる力を育みます

### ① 生涯学習の推進

「第3期愛知県生涯学習推進計画」の基本理念である「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」の実現に向け、生涯学習推進体制の充実を目指して取り組みます。

- ◇社会人の学び直しについて理解を深めるためのリカレントフォーラムの開催
- ◇愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」による情報提供

### ② 家庭教育・子育て支援、子供の貧困対策の充実

すべての子供・子育て家庭への切れ目ない支援や、地域・社会の子育て力を向上する取組を進め、子供たちの将来が、生まれ育った環境に左右されないよう、子供の貧困対策やひとり親家庭への支援に取り組んでいきます。

- ◇放課後子ども教室の実施、中学生等を対象に原則無料の学習支援を行う「地域未来塾」の実施
- ◇公立高等学校等就学支援金、高等学校等奨学金貸付金、公立高等学校等奨学給付金、私立高等学校における入学納付金補助、授業料軽減等による修学支援
- ◇スクールソーシャルワーカーの配置及び配置する市町村への補助
- ◇困難を抱えた若者の社会的自立を目指し、「若者・外国人未来塾」による学習支援を実施

### ③ 学校体育・生涯スポーツの充実

「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」に基づき、子どものスポーツ活動の充実や多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出など、愛知のスポーツの振興に取り組みます。

- ◇WEBサイト「あいち体育のページ」を活用し、教職員や児童生徒に向けて新子供の体力向上運動プログラムを始めとした体力向上に資する情報を発信

### ④ 健康教育・食育の推進

栄養摂取の偏りや朝食欠食といった食習慣の乱れ等に起因する肥満や生活習慣病、食物アレルギー等が健康上の大きな問題となっていることから、家庭や地域、関係機関と連携しながら、食育に関する取組を進めています。

- ◇学校等における食育の充実
  - ・健康教育・食育に係る各種研修の実施
  - ・食育に対する関心を高めるため「わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」を開催
  - ・学校給食に地域の農産物を使用する「愛知を食べる学校給食の日」の実施
  - ・食物アレルギー対応に関する検討委員会の開催

## 【基本的な取組の方向4】

ふるさとの魅力やあいちの伝統・文化に学びつつ、技術の進歩に取り組み、  
社会の発展を支える人を育みます

### ① 社会の担い手の育成に向けたキャリア教育の推進

生徒の特性、進路等を考慮したキャリア教育推進体制を充実させるとともに、地域や産業界等の協力を積極的に得られるよう連携協力体制を構築し、より効果的なキャリア教育を実施していきます。

- ◇魅力あるあいちキャリアプロジェクト「つなぐ」（小中）、インターンシップの実施、キャリア教育コーディネーターの活用（高）
- ◇就労アドバイザーの配置（特支）

## ② 産業を支える人材の育成

社会に求められる資質・能力に、的確に対応した人材の育成を図り、大学・専門学校や企業等と連携し、社会に開かれた教育を推進します。

◇「あいち科学の甲子園」、「知の探究講座」、「技の探究講座」等の開催

◇プロジェクト型学習を取り入れたビジネス探究プログラムの導入（商業高校5校）

◇県立高校と商工会との協働による地域活性化に向けた取組

◇外部人材を活用した実践的な講座の実施

◇愛知総合工科高校（高度ものづくり型中高一貫校、国家戦略特区を活用した専攻科の公設民営）

## 【基本的な取組の方向5】

世界とつながり、生き生きと活躍するために必要な力を育みます

### ① グローバル社会への対応の推進

グローバル社会の中で、本県で生活する全ての子供が、将来、自らの能力を十分に発揮できるよう取り組みます。

◇愛知県の英語教育をけん引するリーディングスクールの指定（20校）

◇小学校における英語専科指導教員の配置

◇「イングリッシュキャンプ in あいち」「国費高校生留学促進事業」の実施

◇専門高校生海外インターンシッププロジェクトの実施

◇中高一貫校（津島・西尾・時習館）における国際バカロレアの導入

### ② 日本語指導が必要な児童生徒等への支援の充実

外国人の子供の就学促進や学校への円滑な受入れのための取組を、関係機関が連携して進めるとともに、人的配置の充実やICTの活用等を含めた支援を推進することにより、外国人児童生徒等が、誰一人取り残されない体制の確立を目指します。

◇日本語教育適応学級担当教員の配置拡大（547人→562人）、語学相談員の派遣（小中）

◇市町村が実施する「日本語初期指導教室」や「**プレスクール**」の運営、ICT機器を活用した教育・支援への補助

◇若者・外国人未来塾の実施（学習支援実施地域：9地域、日本語学習支援実施地域：4→6地域）

◇定時制高校の外国人生徒等の就労先を開拓する就労アドバイザーの設置

◇外国人生徒等教育支援員の配置拡大及び小型通訳機の配備拡大（高、特支）

◇外国にルーツのある生徒を対象とした中高一貫校（衣台高校）

◇日本語を基礎から学べる夜間中学の設置（豊橋工科高校、豊田西高校、小牧高校、一宮高校）

◇日本語教育支援員の配置拡大（高）

## 【基本的な取組の方向6】

子供の意欲を高め、教師の働きがいがある魅力的な教育環境づくりを進めます

### ① 学校における働き方改革

長時間勤務の解消に向けて、教員の負担軽減を図り、質の高い教育を持続的に行うための環境を整えます。

◇出退勤管理システムによる在校等時間の客観的な把握

◇教員が在校のまま受講できるeラーニング研修やオンライン研修の実施

◇専門スタッフの配置（部活動指導員、スクール・サポート・スタッフ、学習指導員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー、情報通信技術支援員等）

◇専科指導教員を増員し（専任131人→221人、非常勤講師38人→44人）、小学校高学年における教科担任制を推進

◇デジタル採点システムの試行導入により、教員の採点業務の負荷の軽減と学習評価の質の向上を検証

◇休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実証事業の実施

◇高ストレス若手教職員の精神的な不調の未然防止を図るために、こころの人間ドックを実施

◇愛知県「休み方改革」プロジェクト（県民の日学校ホリデー、ラーケーションの日）

### ② 教員の人材確保と資質向上の推進

教員の専門性を高めるとともに、人材の確保と資質の向上を図るための取組を充実させていきます。

◇教員のキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修の実施

◇教員採用選考試験における選考の種類、試験内容の充実

◇年度の初期に、産・育休取得の見込まれている教師の代替者を4月の年度当初から任用する

### ③ 学校施設・設備の充実

「県立学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に老朽化対策を進めるとともに、快適な施設環境の整備に取り組んでいきます。

◇「**県立学校施設長寿命化計画**」に基づく老朽化対策の実施

◇県立学校における床の乾式化及び便器の洋式化によるトイレの環境改善

◇特別支援学校体育館への空調設備の整備

## 【基本的な取組の方向7】

大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子供たちが安心・安全に学べることを保障します

### ① 大規模災害や感染症拡大等の緊急時における学びの保障

感染症拡大や大規模災害などの緊急事態においても、子供たちと学校との関係を継続し、学習の保障や心のケア、虐待の防止を図れるよう、切れ目ない学習環境の整備を進めていきます。

◇県立学校の全児童生徒に1人1台タブレット端末を配備（2022年度完了）

◇感染症対策に必要な保健衛生用品等の整備